



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月6日

上場取引所 名

上場会社名 名工建設株式会社
 コード番号 1869 URL <http://www.meikokensetsu.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 野田 豊範
 (氏名) 佐藤 武男
 配当支払開始予定日

TEL 052-589-1504
 平成25年11月26日

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	35,621	13.7	681	—	801	—	511	—
25年3月期第2四半期	31,323	△2.0	△228	—	△115	—	△114	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 1,966百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △208百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	20.25	—
25年3月期第2四半期	△4.55	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	64,960	26,453	40.5	1,042.60
25年3月期	58,262	24,616	42.0	969.54

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 26,327百万円 25年3月期 24,485百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末		
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00	10.00
26年3月期	—	5.00	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	5.00	—	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	80,000	7.9	2,000	12.8	2,100	4.8	1,100	3.5	43.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	27,060,000 株	25年3月期	27,060,000 株
26年3月期2Q	1,808,456 株	25年3月期	1,805,134 株
26年3月期2Q	25,252,996 株	25年3月期2Q	25,257,578 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績予想等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報及び計画に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の経済情勢等によって予想値と異なる場合があります。

【参考】個別業績の概要

(1) 平成26年3月期第2四半期の個別業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

a. 個別経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
平成26年3月期第2四半期	35,096	14.3	798	—	921	—	574	—
平成25年3月期第2四半期	30,702	△1.8	△150	—	△32	—	△53	—

	1株当たり四半期純利益
	円 銭
平成26年3月期第2四半期	22.75
平成25年3月期第2四半期	△2.11

b. 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
平成26年3月期第2四半期	64,504	25,784	40.0
平成25年3月期	57,521	23,893	41.5

(参考) 自己資本 平成26年3月期第2四半期 25,784百万円 平成25年3月期 23,893百万円

(注) 上記個別業績は、四半期財務諸表規則に基づいて作成していますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

(2) 平成26年3月期の個別業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	78,400	8.9	1,945	15.2	2,045	8.4	1,050	7.1	41.57

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

個別業績予想は、現時点における入手可能な情報に基づいており、実際の業績は、様々な要因により予想値と異なる可能性があります。

<添付資料>

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 連結財務諸表等	
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4. 補足情報	
(1) (個別) 四半期貸借対照表	11
(2) (個別) 四半期損益計算書	13
(3) 四半期個別受注の概況	14

1. 当四半期に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済対策や日銀による金融政策等により、円安・株高が進行し、企業収益や個人消費が改善に向かうなど景気回復の兆しが見えてきました。一方、中国経済の鈍化や米国金融政策等の下振れリスク懸念等もあり、景気の先行きは不透明な状況となっております。

建設業界におきましても、オリンピック招致・東日本大震災による復興の需要拡大は期待されるものの、建設資材の調達難や価格の上昇等が懸念され、先行きは依然厳しい環境にあります。

このような情勢下、当社グループは、安全と品質確保並びに技術力の向上を重点に事業活動を積極的に進めました結果、当第2四半期連結累計期間の連結業績は、売上高は35,621百万円（前年同期比4,298百万円増加）となりました。利益におきましては、営業利益が681百万円（前年同期は228百万円の営業損失）、経常利益は801百万円（前年同期は115百万円の経常損失）で四半期純利益は511百万円（前年同期は114百万円の四半期純損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ、賃貸ビル売却により建物・構築物で1,673百万円、土地が984百万円減少しましたが、現金預金で5,394百万円、未成工事支出金で1,666百万円、株価上昇により投資有価証券が2,203百万円増加したことなどにより、総額では6,697百万円増加して64,960百万円となりました。

負債の部では支払手形・工事未払金等が938百万円減少しましたが、借入金で4,785百万円、未成工事受入金で1,262百万円増加したことなどにより、4,860百万円増加の38,506百万円となりました。

純資産につきましては、利益剰余金で385百万円、その他有価証券評価差額金が1,458百万円増加したことなどにより、1,837百万円増の26,453百万円となりました。この結果、自己資本比率は40.5%、1株当たり純資産は1,042円60銭となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期における営業活動によるキャッシュ・フローは1,480百万円の支出超過となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益が849百万円、減価償却費401百万円等の収入要因がありましたが、未成工事支出金の増加1,666百万円、仕入債務の減少1,399百万円等の支出要因があったことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは2,217百万円の収入超過となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出375百万円と無形固定資産の取得による支出89百万円等がありましたが、有形固定資産売却による収入が2,663百万円あったことによるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは4,657百万円の収入超過となりました。主な要因は、借入金の増加4,785百万円、配当金の支払い126百万円等です。

以上の結果、当第2四半期末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ5,394百万円増加し、9,273百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今年度通期の売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益の連結業績予想については平成25年5月10日に公表しました通りであります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の算定方法

税金費用の算定については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて算定しております。なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	3,879	9,273
受取手形・完成工事未収入金等	26,184	25,990
未成工事支出金	535	2,201
その他のたな卸資産	402	408
繰延税金資産	720	779
その他	2,022	2,191
貸倒引当金	△178	△177
流動資産合計	33,565	40,668
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物（純額）	5,788	4,114
機械、運搬具及び工具器具備品（純額）	592	616
土地	5,311	4,326
リース資産	2	2
建設仮勘定	85	201
有形固定資産合計	11,780	9,261
無形固定資産		
ソフトウェア	373	404
その他	94	75
無形固定資産合計	468	480
投資その他の資産		
投資有価証券	10,497	12,701
その他	2,283	2,179
貸倒引当金	△333	△330
投資その他の資産合計	12,447	14,550
固定資産合計	24,696	24,292
資産合計	58,262	64,960

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	17,057	16,118
短期借入金	4,472	8,807
未払法人税等	432	418
未成工事受入金	1,562	2,825
完成工事補償引当金	29	31
工事損失引当金	150	87
賞与引当金	1,189	860
役員賞与引当金	25	8
その他	2,018	1,463
流動負債合計	26,938	30,623
固定負債		
長期借入金	3,450	3,900
繰延税金負債	1,622	2,418
退職給付引当金	1,295	1,372
役員退職慰労引当金	96	—
その他	242	192
固定負債合計	6,707	7,883
負債合計	33,646	38,506
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,594	1,594
資本剰余金	1,822	1,822
利益剰余金	19,506	19,891
自己株式	△941	△943
株主資本合計	21,982	22,365
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,503	3,961
その他の包括利益累計額合計	2,503	3,961
少数株主持分	130	126
純資産合計	24,616	26,453
負債純資産合計	58,262	64,960

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	31,323	35,621
売上原価	29,053	32,593
売上総利益	2,270	3,027
販売費及び一般管理費	2,498	2,346
営業利益又は営業損失(△)	△228	681
営業外収益		
受取利息	3	0
受取配当金	96	97
受取地代家賃	36	31
その他	40	45
営業外収益合計	176	174
営業外費用		
支払利息	60	36
その他	1	18
営業外費用合計	62	54
経常利益又は経常損失(△)	△115	801
特別利益		
固定資産売却益	3	285
投資有価証券売却益	8	13
特別利益合計	12	299
特別損失		
固定資産売却損	—	201
固定資産除却損	19	19
投資有価証券評価損	60	28
その他	4	1
特別損失合計	85	251
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△187	849
法人税等	△67	342
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△120	506
少数株主損失(△)	△5	△4
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△114	511

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△120	506
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△87	1,459
その他の包括利益合計	△87	1,459
四半期包括利益	△208	1,966
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△201	1,969
少数株主に係る四半期包括利益	△6	△3

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△187	849
減価償却費	455	401
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△49	△3
完成工事補償引当金の増減額(△は減少)	△0	2
工事損失引当金の増減額(△は減少)	42	△62
賞与引当金の増減額(△は減少)	△255	△328
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△18	△17
退職給付引当金の増減額(△は減少)	65	76
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	4	△96
受取利息及び受取配当金	△99	△97
支払利息	60	36
有価証券及び投資有価証券売却損益(△は益)	△4	△13
有価証券及び投資有価証券評価損益(△は益)	60	28
有形固定資産売却損益(△は益)	△3	△84
有形固定資産除却損	19	19
売上債権の増減額(△は増加)	4,053	200
未成工事支出金の増減額(△は増加)	△1,629	△1,666
その他のたな卸資産の増減額(△は増加)	2	△6
その他の資産の増減額(△は増加)	△180	△81
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,804	△1,399
未成工事受入金の増減額(△は減少)	336	1,262
その他の負債の増減額(△は減少)	49	△142
その他	△0	△0
小計	△1,083	△1,124
利息及び配当金の受取額	99	97
利息の支払額	△59	△37
法人税等の支払額	△574	△415
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,617	△1,480

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△551	△375
有形固定資産の売却による収入	7	2,663
固定資産の除却による支出	△4	△16
無形固定資産の取得による支出	△106	△89
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
投資有価証券の売却による収入	45	35
貸付金の回収による収入	34	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△576	2,217
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	4,400	5,085
長期借入れによる収入	2,000	650
長期借入金の返済による支出	△3,200	△950
自己株式の取得による支出	△0	△1
配当金の支払額	△126	△126
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,073	4,657
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	879	5,394
現金及び現金同等物の期首残高	1,935	3,879
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,814	9,273

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 個別四半期貸借対照表

(単位 百万円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	3,504	8,946
受取手形	13	592
完成工事未収入金	25,411	25,123
販売用不動産	271	211
未成工事支出金	454	2,053
材料貯蔵品	45	51
短期貸付金	660	550
前払費用	59	54
繰延税金資産	692	692
未収入金	805	1,136
立替金	921	881
その他	98	71
貸倒引当金	△171	△174
流動資産合計	32,767	40,190
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	5,505	3,844
構築物(純額)	149	139
機械及び装置(純額)	285	244
車両運搬具(純額)	18	16
工具器具・備品(純額)	286	351
土地	5,084	4,099
リース資産(純額)	2	2
建設仮勘定	85	201
有形固定資産合計	11,417	8,899
無形固定資産		
ソフトウェア	372	402
その他	19	19
無形固定資産合計	392	421
投資その他の資産		
投資有価証券	10,364	12,546
関係会社株式	572	572
長期貸付金	130	89
長期前払費用	1,564	1,434
その他	645	678
貸倒引当金	△332	△329
投資その他の資産合計	12,944	14,993
固定資産合計	24,754	24,314
資産合計	57,521	64,504

(単位 百万円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	2,882	3,704
工事未払金	13,989	12,322
短期借入金	5,072	9,407
未払金	704	306
未払費用	168	191
未払法人税等	414	412
未成工事受入金	1,536	2,784
預り金	833	756
完成工事補償引当金	29	31
工事損失引当金	150	87
賞与引当金	1,091	798
役員賞与引当金	25	8
その他	192	173
流動負債合計	27,091	30,985
固定負債		
長期借入金	3,450	3,900
繰延税金負債	1,609	2,397
退職給付引当金	1,235	1,313
その他	241	123
固定負債合計	6,536	7,734
負債合計	33,627	38,720
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,594	1,594
資本剰余金		
資本準備金	1,746	1,746
その他資本剰余金	13	13
資本剰余金合計	1,760	1,760
利益剰余金		
利益準備金	398	398
その他利益剰余金		
固定資産圧縮積立金	347	347
固定資産圧縮特別勘定積立金	8	8
別途積立金	17,035	17,835
繰越利益剰余金	1,211	859
利益剰余金合計	19,001	19,449
自己株式	△941	△943
株主資本合計	21,414	21,861
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,478	3,923
評価・換算差額等合計	2,478	3,923
純資産合計	23,893	25,784
負債純資産合計	57,521	64,504

(2) 個別四半期損益計算書

【第2四半期累計期間】

(単位 百万円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	30,702	35,096
売上原価	28,549	32,125
売上総利益	2,153	2,971
販売費及び一般管理費	2,303	2,172
営業利益又は営業損失(△)	△150	798
営業外収益		
受取利息	7	2
受取配当金	95	97
受取地代家賃	42	37
その他	37	39
営業外収益合計	181	178
営業外費用		
支払利息	62	37
その他	1	17
営業外費用合計	64	55
経常利益又は経常損失(△)	△32	921
特別利益		
固定資産売却益	3	285
投資有価証券売却益	8	13
特別利益合計	12	299
特別損失		
固定資産売却損	-	201
固定資産除却損	19	19
投資有価証券評価損	46	28
その他	4	1
特別損失合計	71	250
税引前四半期純利益又は税引 前四半期純損失(△)	△91	970
法人税等	△38	395
四半期純利益又は四半期純損 失(△)	△53	574

(注) この四半期損益計算書は、四半期財務諸表等規則に基づいて作成しておりますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

「参考」

四半期個別受注の概況

(1) 個別受注実績

	受注高	
平成26年3月期第2四半期	54,297 百万円	79.5 %
平成25年3月期第2四半期	30,241 百万円	27.7 %

(注) ①受注高は、当該四半期までの累計額

②パーセント表示は、前年同四半期比増減率

(参考) 受注実績内訳

(単位 百万円)

区 分	平成25年3月期		平成26年3月期		比較増減	増減率
	第2四半期	構成比	第2四半期	構成比		
		%		%		%
土木	18,344	60.7	39,666	73.1	21,321	116.2
建築	11,896	39.3	14,630	26.9	2,733	23.0
計	30,241	100.0	54,297	100.0	24,055	79.5
官公庁	8,518	28.2	9,915	18.3	1,396	16.4
民間	21,723	71.8	44,381	81.7	22,658	104.3
計	30,241	100.0	54,297	100.0	24,055	79.5

(2) 個別受注予想

	通 期	
平成26年3月期予想	99,000 百万円	23.8 %
平成25年3月期実績	79,944 百万円	16.1 %

【個別受注実績及び個別受注予想に関する定性的情報等】

第2四半期の受注実績については、前年第2四半期に比べ部門別・発注者別共に増加し、総額で79.5%増の54,297百万円となりました。

通期の受注予想については、期初に発表した78,000百万から99,000百万に修正しました。

※ 上記予想は、発表日現在入手可能な情報に基づき当社が予測したものであり、実際の受注は、経済情勢等の様々な要因により変動する可能性があります。

平成26年3月期 第2四半期決算発表

1. 全体概況

(単位:百万円)

期	70	71	72	73	前年比	期初計画
年度	22/9	23/9	24/9	25/9		
受注高	35,177	24,108	30,776	55,001	24,225	32,000
売上高	29,087	31,962	31,323	35,621	4,298	33,000
売上総利益	2,769	2,404	2,270	3,027	757	—
販売費及び 一般管理費	2,481	2,297	2,498	2,346	△152	—
営業利益	287	106	△228	681	909	50
経常利益	368	185	△115	801	916	100
四半期純利益	134	33	△114	511	626	55

- (1) 当第2四半期累計期間(以下、中間期といいます)の受注高は、前年同期比 24,225百万円(78.7%)増加の55,001百万円となりました。この主な増加要因は当社の最大顧客でありますJR東海(株)の新幹線大規模改修工事(205億円)が3年分をまとめた発注であったため、来年度以降に施工する工事も受注できたことによるものです。
- (2) 売上高は前年同期比4,298百万円(13.7%)増加の35,621百万円となりました。この主な増加要因は、期初の繰越工事高が前年より84億円ほど多かったため、完成工事高が前年同期比4,180百万円(13.6%)増加したこと。兼業事業売上高が販売用不動産売却により、前年同期比117百万円(24.6%)増加したことによるものです。
- (3) 売上総利益は、工事利益、兼業利益ともに増加して、前年同期比757百万円(33.4%)増加の3,027百万円となりました。主な増加要因は売上増、工事利益率の改善(前年同期比1%増)により工事利益が前年同期比639百万円(30.2%)増加したこと。販売用不動産売却により兼業総利益が前年同期比118百万円(76%)増加したことによるものです。
- (4) 販売費及び一般管理費は、前年同期比152百万円減少し2,346百万円となりました。この結果、営業利益は681百万円(前年同期は228百万円の営業損失)となりました。営業外収支は支払利息の減少等により119百万円(前年比6百万円増加)の利益となり、経常利益は801百万円(前年同期は115百万円の経常損失)となりました。特別損益は48百万円の黒字となり、四半期純利益は511百万円(前年同期は114百万円の四半期純損失)となりました。

2. 発注者別の受注・売上状況

(1) 受注高

(単位:百万円、%)

		23/9	構成比	24/9	構成比	25/9	構成比	前年比
部門別	土木	14,492	60.1	18,359	59.7	39,668	72.1	21,308
	建築	9,615	39.9	12,416	40.3	15,333	27.9	2,917
発注者別	官公庁	2,892	12.0	8,534	27.7	9,932	18.1	1,397
	民間	21,215	88.0	22,241	72.3	45,069	81.9	22,828
計		24,108	100	30,776	100	55,001	100	24,225

- ・当中間期の受注高は部門別・発注者別ともに増加しました。とりわけJR東海(株)発注の新幹線大規模改修工事が3年分受注できたため、土木・民間が大きく増加しました。

(2) 売上高

(単位:百万円、%)

		23/9	構成比	24/9	構成比	25/9	構成比	前年比
部門別	土木	20,087	63.5	20,106	65.2	21,254	60.7	1,148
	建築	11,552	36.5	10,740	34.8	13,772	39.3	3,032
発注者別	官公庁	5,574	17.6	6,064	19.7	7,551	21.6	1,486
	民間	26,065	82.4	24,781	80.3	27,475	78.4	2,693
計		31,640	100	30,846	100	35,027	100	4,180
兼業売上		322	—	476	—	593	—	117
合計		31,962	—	31,323	—	35,621	—	4,298

- (1) 完工高は期初の繰越工事が多かったこともあり、中間期は4,180百万円増加しました。
- (2) 部門別・発注者別ともに増加し、民間・建築が大きく増加しました。
- (3) 兼業売上は販売用不動産売却により117百万円増加しました。

3. 財政状態

	24/9	25/3	25/9	年間増減
総資産(百万円)	56,431	58,262	64,960	8,529
有利子負債	13,400	8,413	12,707	△693
自己資本(百万円)	21,689	24,485	26,327	4,637
借入金比率(%)	23.7	14.4	19.6	△4.1
自己資本比率(%)	38.4	42.0	40.5	2.1
1株当たり純資産(円)	858.78	969.54	1,042.60	183.82

- (1) 総資産は、賃貸ビル売却により、建物・構築物及び土地が減少しましたが、現預金残高と株価上昇による投資有価証券の残高が大幅に増加したことなどにより、前年同期比8,529百万円増加の64,960百万円となりました。
- (2) 有利子負債は不稼働資産の売却等に務め、前年同期比 693百万円減少の12,707百万円となり、借入金比率は19.6%となりました。
- (3) 自己資本は、前年同期比では純利益増加に伴う利益剰余金の増加や、株価上昇により「其他有価証券評価差額金」も増加しましたので、全体では4,637百万円増加の26,327百万円となりました。
- (4) 以上の結果、当第2四半期末の自己資本比率は前年比2.1%向上して40.5%となり、1株当たり純資産は前年比183.82円増加して1,042.6円となりました。

4. 通期の見込み

(単位:百万円)

	25/3期	26/3期見通し		
	実績	当初	今回	増減
受注高	81,140	79,000	100,000	21,000
売上高	74,116	80,000	80,000	0
営業利益	1,773	2,000	2,000	0
経常利益	2,004	2,100	2,100	0
当期純利益	1,063	1,100	1,100	0
1株当り配当金	5+5円	5+5円	5+5円	0

- (1) 受注高の通期見込みは、JR東海(株)発注の大規模改修工事を3年分受注できたことにより、100,000百万円と増額変更致しました。
- (2) 大規模改修工事の受注増加は、当期の売上見込みには影響しませんので、通期の売上高の見込みは年初計画と変更はありません。
- (3) 営業利益・経常利益・当期純利益の見込みは、工事利益率の向上を図り年初計画を達成する予定であり、年初計画の変更はありません。
- (4) 配当については、今年度も安定収益の確保を見込むことができ、十分な配当原資もありますので、計画通り中間・期末の合計で10円配当を継続する予定です。

以上